視点

何を問うのか総選挙

責任ある積極財政や防衛力の抜本強化等、自維連立による政策転換を国民に問うとして総理が解散に打って出た。本号発刊時には結果もわかるだろうが、高い内閣支持率と連立組換えや新党の浸透等、事前の予測は難しい。

どの政党も前回躍進した政党にすり寄るように、食料品や一律の差はあれ消費税減税や社会保険料軽減という大衆迎合的な公約を掲げ、与野党とも給付付き税額控除を謳い超党派の国民会議で検討するというのでは、良し悪しはともかく社会保障は争点になりにくい。

30年ぶりの高い診療報酬改定率等も積極財政の賜物だとすれば医療界にとっては歓迎すべきだが、単年度の基礎的財政収支の黒字化に代わる債務残高のGDP比の持続的低下等新たな健全化目標が求められる。今の財政状況で曖昧な財源で社会保障の重要財源である消費税を軽減すること自体、「責任」と「積極財政」のオクシモロンが際立つ。

積極財政が経済成長につながらなければ国債金利上昇、円安進行で物価上昇のブーメランが国民や医療界を直撃するという意味では、この政策に審判を下すのは選挙でなく市場である。積極財政による負担軽減が国民に刺さり選挙に勝てても、市場の信認が得られなければ継続は不可能である。

各党一様に社会保険料の軽減を掲げ、2割、3割と高齢者の窓口負担引上げ等高齢者に厳しい政策を掲げる党もあるが、今の政治過程では保険者、企業、労組、有識者がこぞって若年層の利害を代弁し、高齢者の意見は反映されにくい。丁寧な検討を促すには高齢者は投票行動で意思を示すしかないが、結果はどうなっただろうか。

社会保険旬報 目次

№2990　2026年2月11日

視点
何を問うのか総選挙 …… 3

座標
８年度診療報酬改定の附帯意見了承
中医協公聴会で診療報酬改定意見きく …… 4
精神医療も地域医療構想の対象に
国民年金1.9％、厚生年金2.0％引上げ …… 5

論評
新たな地域医療構想をどう考えるのか②
地域区分の考え方
松田晋哉 …… 6

BOOK REVIEW
『要介護にならない！
自立と寝たきりの分岐点、
「フレイル」を知る』…… 14

ジュネーヴからの便り㉚
テレワーク
中谷祐貴子 … 15

潮流
かかりつけ医機能関連の改定項目 …… 16
医薬品関連の診療報酬・調剤報酬決定 … 17
協会けんぽが８年度保険料率を決定 …… 18
柔整あはき委員会が改定の議論を開始 … 19
医療介護福祉政策フォーラムでシンポ … 20
法律に基づくオン診、医療部会が了承 … 22
新医療構想の急性期拠点機能を調整 …… 24

特別レポート
内視鏡AIは地域の健康を守る
客観的なパートナー
―つくばトータルヘルスプラザ …… 26

NEWS
私立医科大協会が新設の急性期総合
体制加算を評価 …… 28

療養の給付の取扱いについて …… 31

雇用・労働の動き …… 33

第63回診療報酬請求事務能力認定試験
歯科・学科試験問題の解答と解説 …… 41

編集室・ワードカプセル …… 42